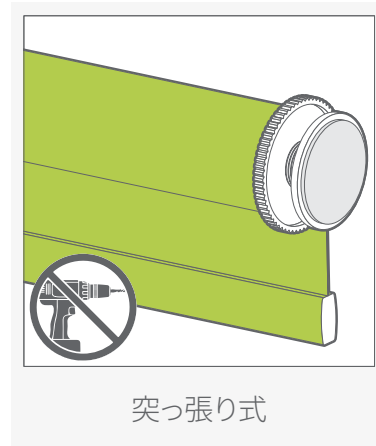
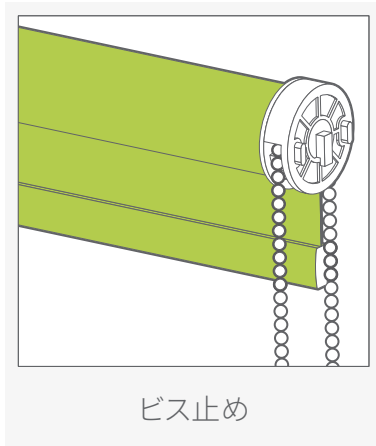
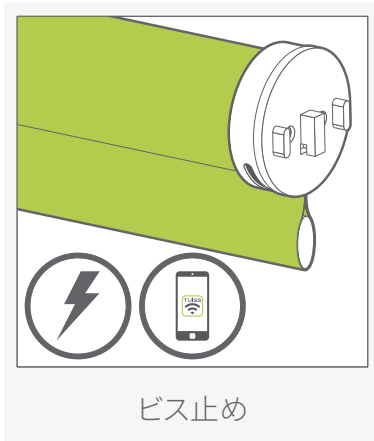


以下より取り付け方法をご選択下さい。

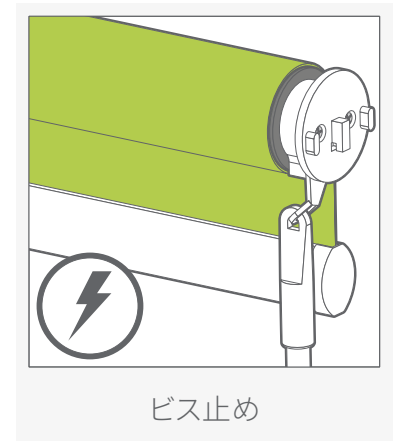
チェーン式



スマートビュー電動



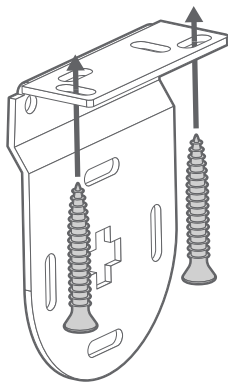
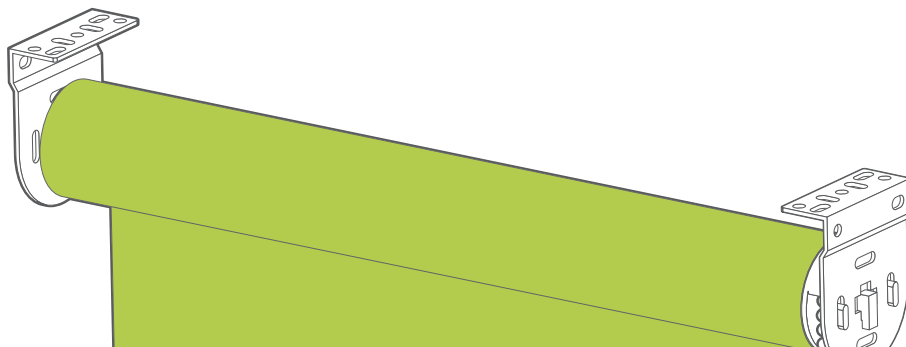
ワンタッチ電動





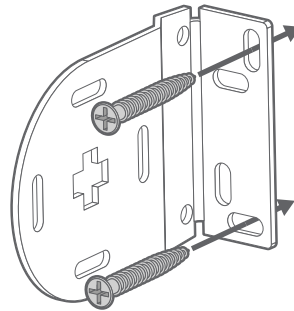
1

ブラケットの取り付け方



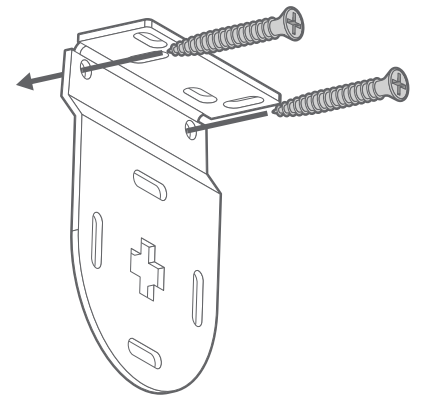
天井付け

窓枠内の天井にビスで取り付けます。



正面付け

窓枠外側の壁面、または窓枠の正面に取り付けます。



側面付け

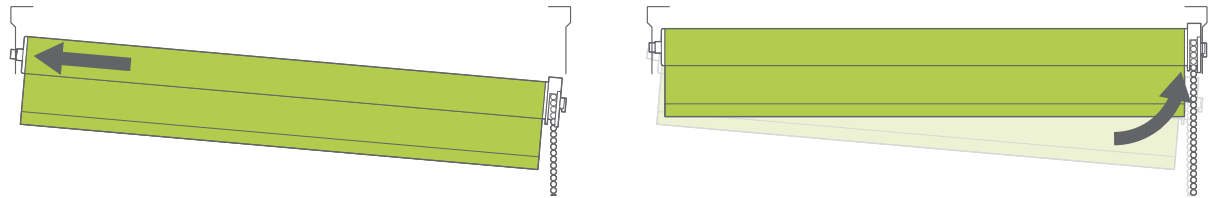
窓枠内の側面にビスで取り付けます。

アドバイス

通常は天井付けまたは正面付けでの取り付けをおすすめします。お部屋の天井や窓枠の上部に凹凸（鴨居など）がある場合は側面付けでお取付け下さい。

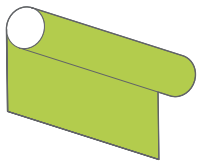


本体の取り付け方



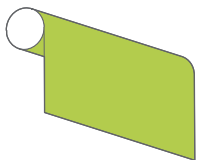
チェーンコントローラーと反対側の突起をブラケットの穴に合わせます。そのあと、チェーンコントローラー側をブラケットに合わせて固定します。

その他



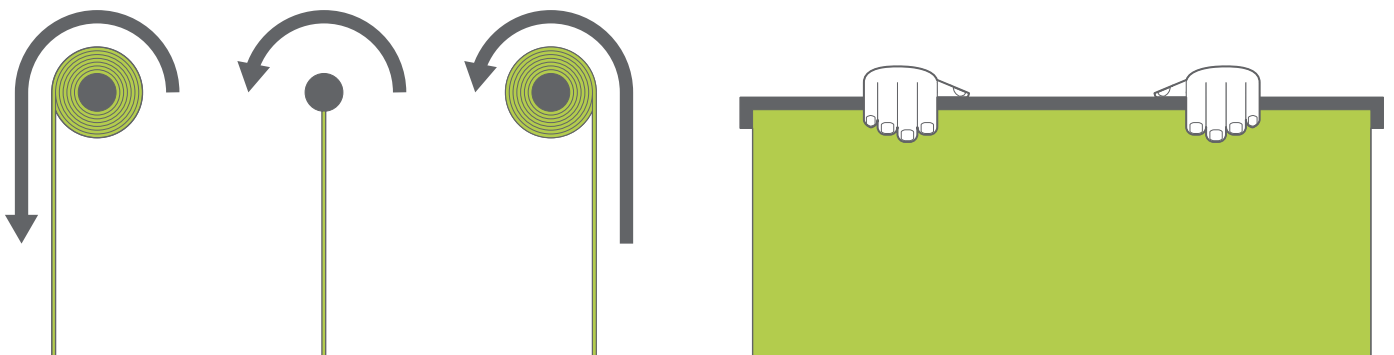
スタンダード巻き

ロールスクリーンは生地を2通りの方向に巻き付けることができます。「スタンダード巻き」は窓または壁に近い位置でスクリーン生地が上下開閉し、本体がチューブの後ろ側に巻き上げられる形です。一般的に遮光タイプのロールスクリーンに使われ、窓枠の外に取り付けることが多いです。「スタンダード巻き」は光漏れが少ないのがメリットです。



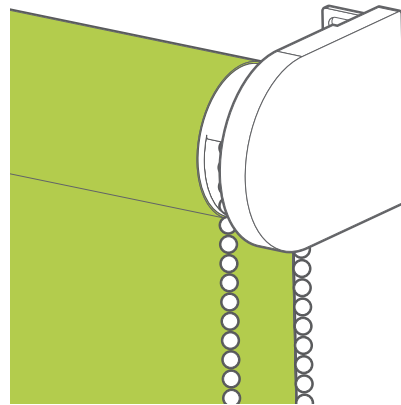
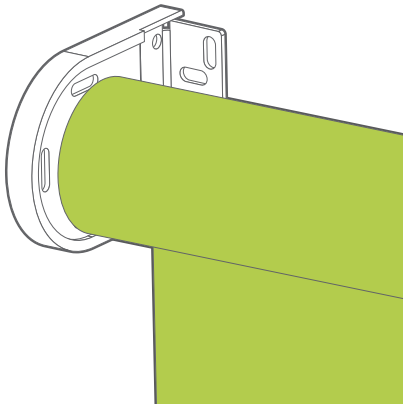
リバース巻き

「リバース巻き」はチューブの前側でスクリーン生地が上下開閉し、チューブ自体を隠す効果もあります。また窓枠内にスクリーンを取り付ける場合、この巻き方ですと、窓ノブやその他の障害物とスクリーン生地の接触が防げます。

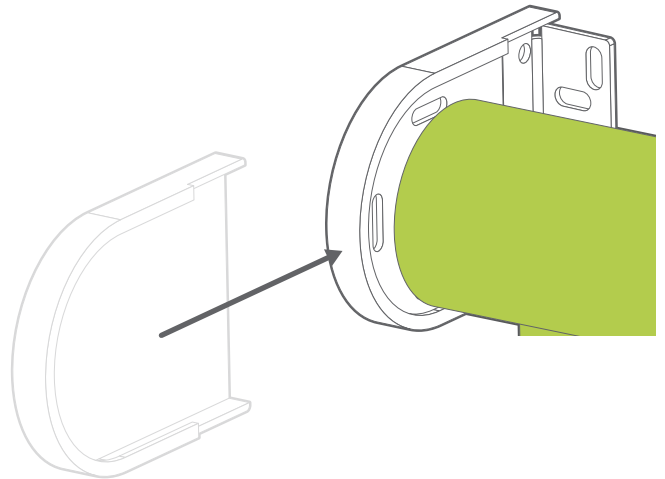
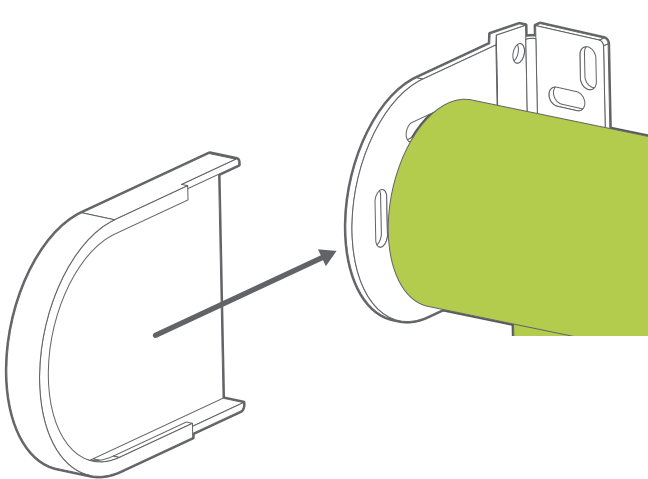


スクリーン生地の巻き方を変える場合は、まず現在巻いてある生地をすべて巻き出し、そのまま同方向にまき直します。その際、手のひらを滑らせて生地がしっかりとチューブに巻き付いていることを確認しながら巻いていきます。

ブラケットカバー (正面付けのみ)

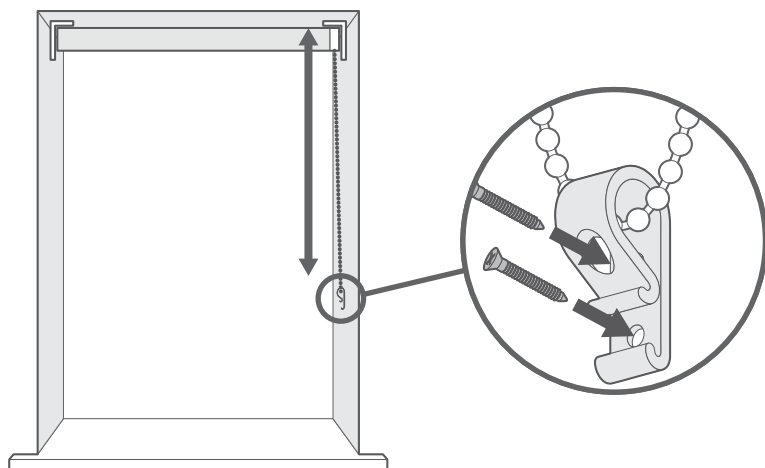


正面付けの際にブラケットを隠して、すっきりとした外観に仕上げるブラケットカバーが付属しています。



ブラケットカバーは、前方から後方に押し込むだけで簡単に装着できます。

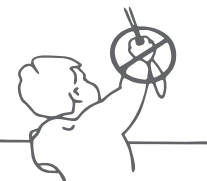
安心してブラインド等をご使用いただくために



操作チェーンは小さなお子様やペットに絡まったり、自分で巻きついたりする危険性があります。チェーンがたるまない位置で、付属のチェーンクリップを壁または窓枠に固定してお使いください。



お子様が
よじ登っ
て操作チ
ェーンに
手が届い
てしまわな



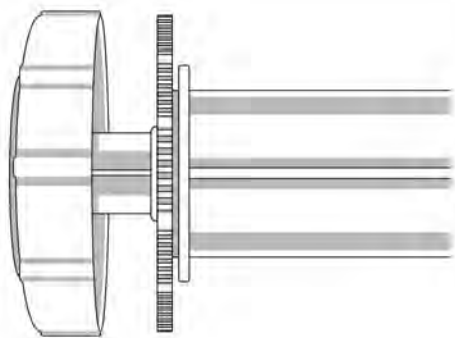
いように、窓の近くにベビー
ベッドや家具などを設置し
ないで下さい。事故につな
がる恐れがあります。操作
チェーンについて十分ご理
解いただいたうえでご使用
をお願いいたします。



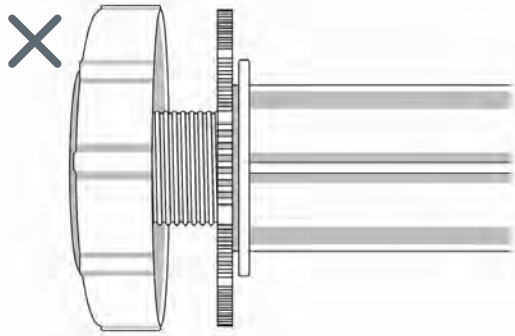
本体の取り付け方

アドバイス

生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けして下さい。



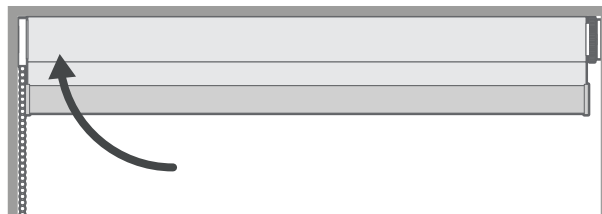
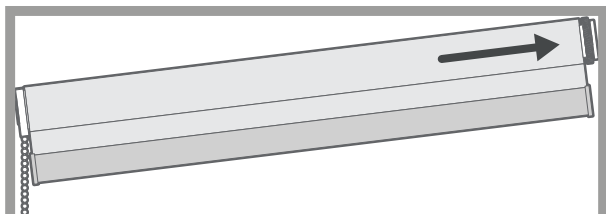
突っ張り部分はねじの溝部分をすべて収納した状態（ばねが効く状態）で窓内に入れ、突っ張ります。



突っ張り部分のねじの溝部分がすべて見えている状態。

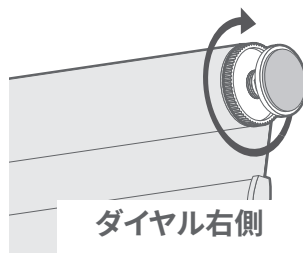
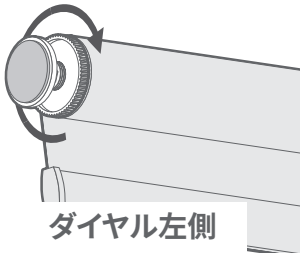
チェーンコントローラーと反対側のダイヤルを壁に押し当てます。

バネを縮めた状態で、チェーンコントローラー側を上げて、ロールスクリーンがまっすぐ水平になるように調整します。バネの反力で窓枠に固定します。



左右ヘンションが掛かり、本体が固定されているのを確認してください。※この時点で窓枠に固定されない場合は、商品サイズが異なっている可能性がありますのでカスタマーサポートまでご連絡下さい。

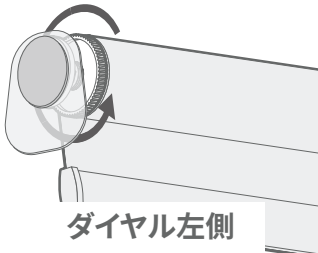
◆ 幅614mm以下、丈1800mm以下の商品:



ダイヤルを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします(左図参照)。回らなくなったら固定完了です。

注意:側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。

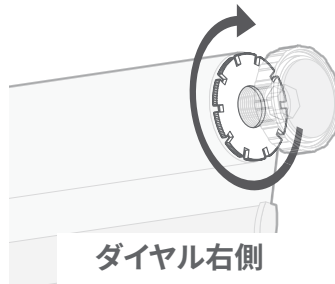
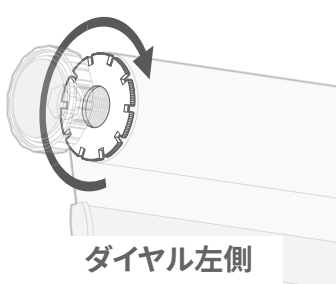
◆ **【2026/4/15以降のご注文分】** 幅614mm以下、丈1800mm以下の商品:



ダイヤルを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします(左図参照)。回らなくなったら固定完了です。

注意:側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。

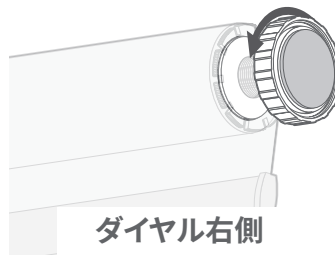
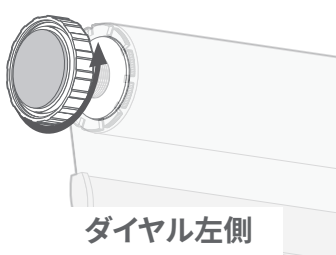
◆ 幅1607mm以上または丈1801mm以上の商品



Step 1

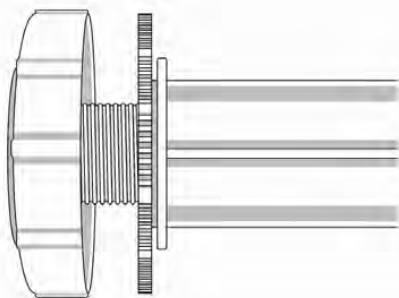
ダイヤル内側の調整リングを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします(左図参照)。

注意:側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。



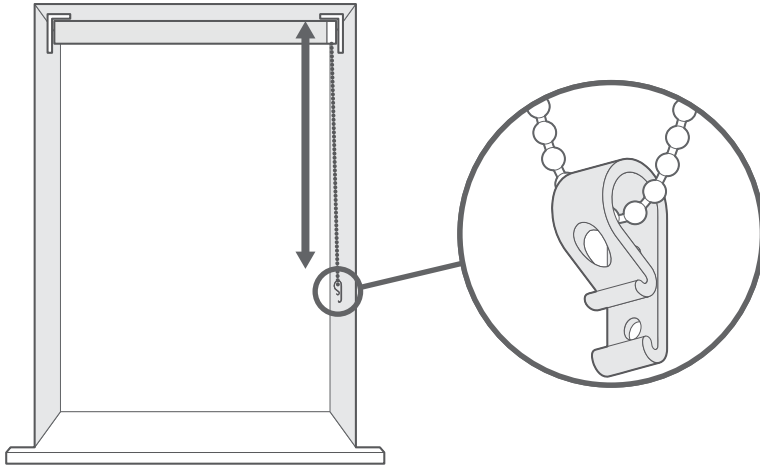
Step 2

ダイヤルをロールスクリーンの筒に対して、反時計回りに回します。調整リングとダイヤルが接したら固定完了です。

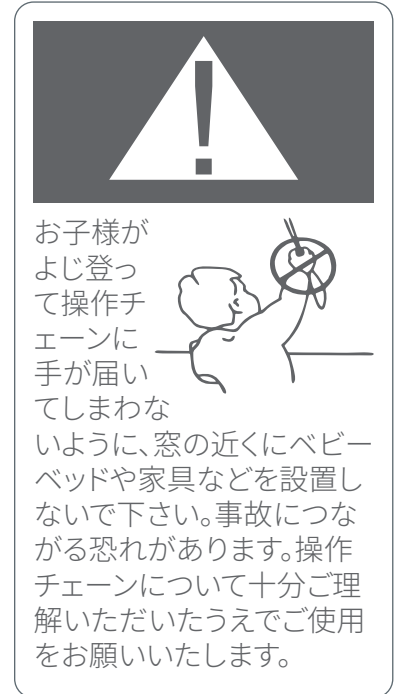


突っ張り部分を固定する際は、収納したねじの溝部分がすべて出ていることを確認してください。

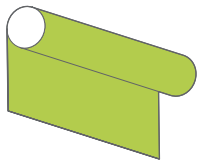
安心してブラインド等をご使用いただくために



操作チェーンは小さなお子様やペットに絡まったり、自分で巻きつけたりする危険性があります。チェーンがたるまない位置で、付属のチェーンクリップに両面テープ等を貼り、壁または窓枠に固定してお使いください。

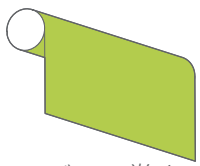


その他



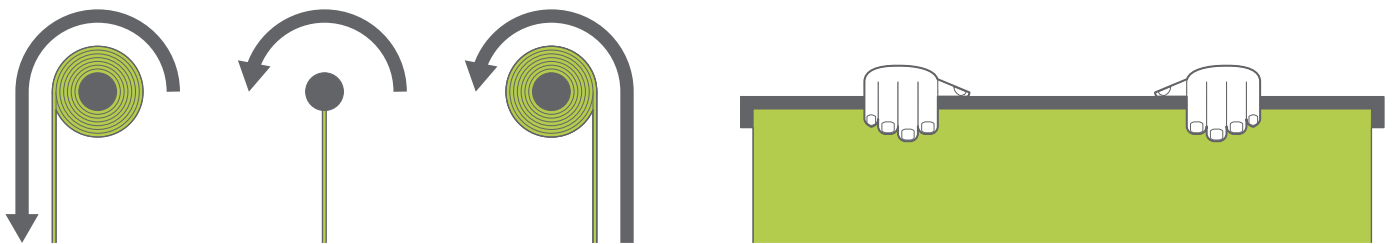
スタンダード巻き

ロールスクリーンは生地を2通りの方向に巻き付けることができます。「スタンダード巻き」は窓または壁に近い位置でスクリーン生地が上下開閉し、本体がチューブの後ろ側に巻き上げられる形です。一般的に遮光タイプのロールスクリーンに使われ、窓枠の外に取り付けることが多いです。「スタンダード巻き」は光漏れが少ないのがメリットです。



リバース巻き

「リバース巻き」はチューブの前側でスクリーン生地が上下開閉し、チューブ自体を隠す効果もあります。また窓枠内にスクリーンを取り付ける場合、この巻き方ですと、窓ノブやその他の障害物とスクリーン生地の接触が防げます。

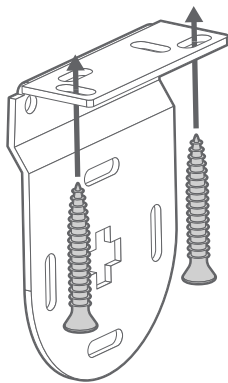
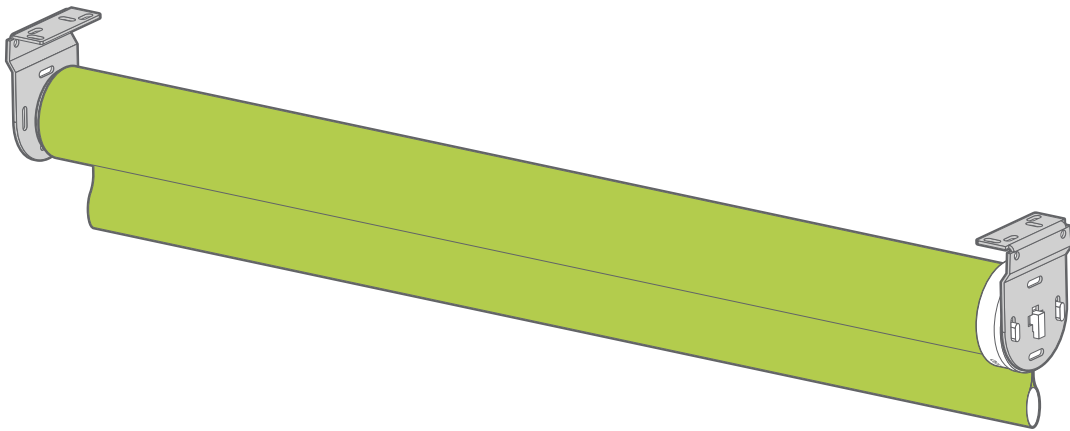


スクリーン生地の巻き方を変える場合は、まず現在巻いてある生地をすべて巻き出し、そのまま同方向にまき直します。その際、手のひらを滑らせて生地がしっかりとチューブに巻き付いていることを確認しながら巻いていきます。



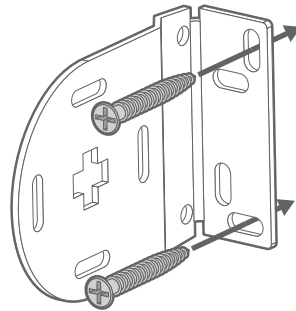
ブラケットの取り付け方

1



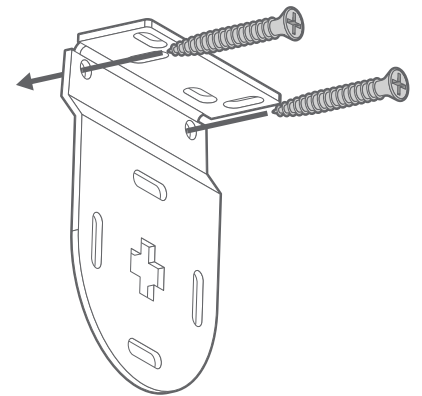
天井付け

窓枠内の天井にビスで取り付けます。



正面付け

窓枠外側の壁面、または窓枠の正面に取り付けます。



側面付け

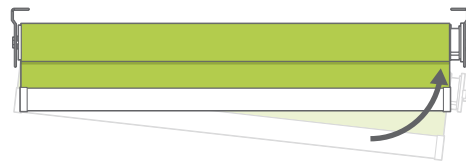
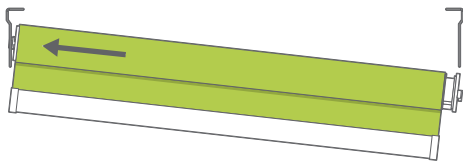
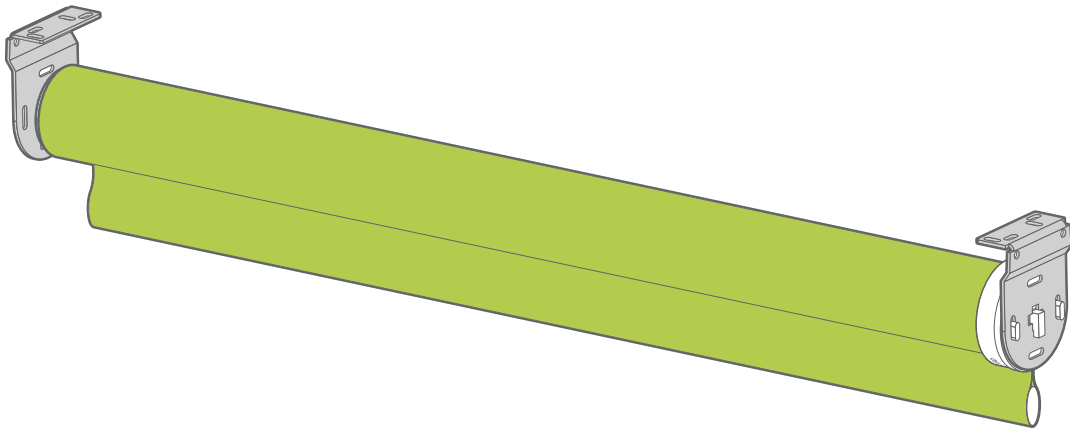
窓枠内の側面にビスで取り付けます。

アドバイス

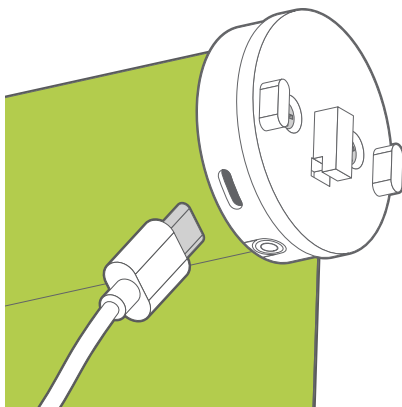
通常は天井付けまたは正面付けでの取り付けをおすすめします。お部屋の天井や窓枠の上部に凹凸（鴨居など）がある場合は側面付けでお取付け下さい。



本体の取り付け方



ブラケットの取り付けが終了したら、「ピンエンド」(上記参照)をブラケットに合わせます。そのあとコントロール側を反対側のブラケットに取り付け固定します。



ブラインドを取り付けた後、モーターを完全に充電することをお勧めします。LEDランプが赤色から緑色に点灯するまで充電して下さい。

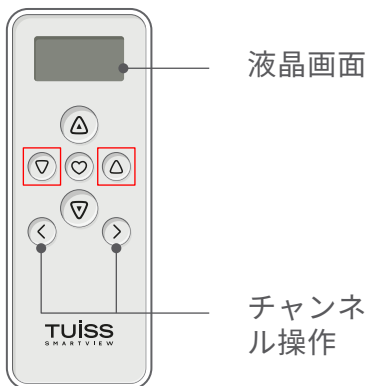


付属しているタグの表面(緑色)のQRコードを読み込んで、アプリをダウンロードします。裏面(白黒)のQRコードはアプリをダウンロード後、商品登録の際に使用します。

"複数のスマートフォンで使用することができますが、同時に使用することはできません。初めて接続する際は一人ずつ行い、使用しない方はアプリを閉じるかBluetoothをオフにしてください。"

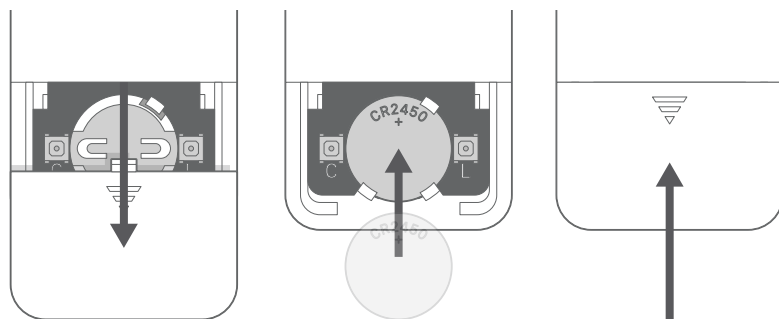
接続ができなくなった時は、充電器を差し込みなおし、一人ずつアプリに再接続して下さい。その際も操作している人以外はアプリを閉じるかBluetoothをオフにして、全員接続し終わったら充電器を抜いて下さい。"

リモコンの使い方（有料オプション）



リモコンの設定は、専用のアプリを使用して行います。前のページでご案内した通り、アプリをダウンロードしてください。アカウントを設定した後、アプリ内の指示に従ってリモコンの設定を行ってください。

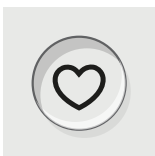
四角で囲んでいるボタンはロールスクリーンでは使用しません。



リモコンの電池は、リモコン裏側にある電池カバーをスライドして外し、付属のリチウムイオンバッテリーを丸いスロットに挿入します。



「上」ボタンを押すとブラインドが上昇します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。



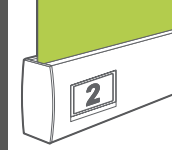
「ストップ」ボタンを押すと昇降中のブラインドを停止します。



「下」ボタンを押すとブラインドが下降します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。



チャンネル操作



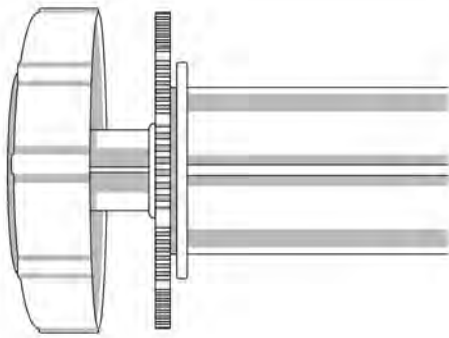
操作するロールスクリーンを変更します。チャンネル番号は各ロールスクリーンのボトムバー裏側に貼られているラベルを確認して下さい。



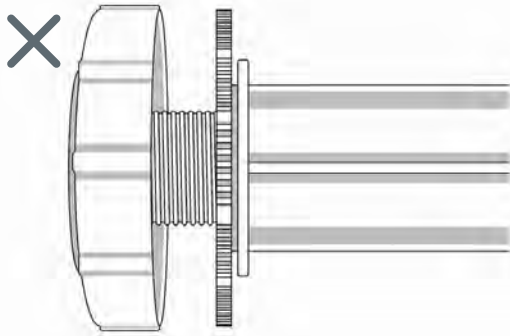
本体の取り付け方

アドバイス

生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けして下さい。



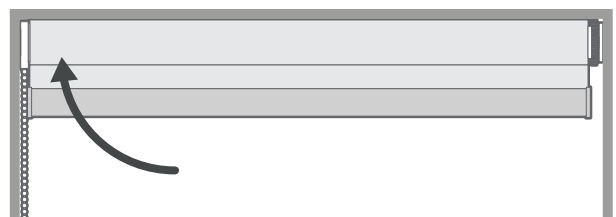
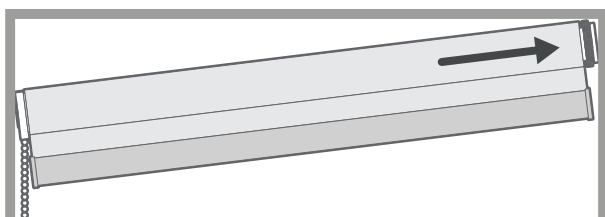
突っ張り部分はねじの溝部分をすべて収納した状態(ばねが効く状態)で窓内に入れ、突っ張ります。



突っ張り部分のねじの溝部分がすべて見えている状態。

チェーンコントローラーと反対側のダイヤルを壁に押し当てます。

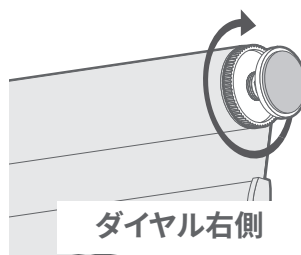
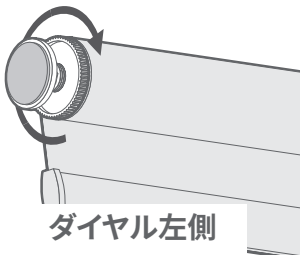
バネを縮めた状態で、チェーンコントローラー側を上げて、ロールスクリーンがまっすぐ水平になるように調整します。バネの反力で窓枠に固定します。



左右ヘンションが掛かり、本体が固定されているのを確認してください。※この時点で窓枠に固定されない場合は、商品サイズが異なっている可能性がありますのでカスタマーサポートまでご連絡下さい。



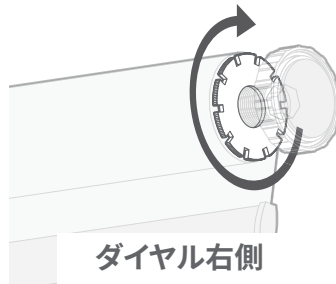
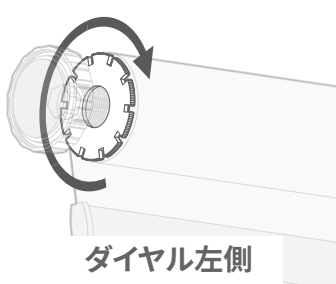
◆ 幅614mm以下、丈1800mm以下の商品:



ダイヤルを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします(左図参照)。回らなくなったら固定完了です。

注意:側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。

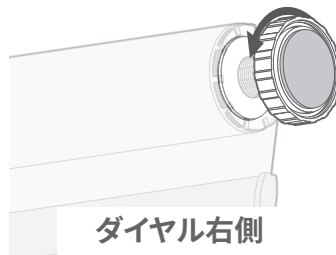
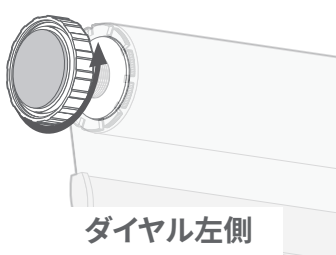
◆ 幅1607mm以上または丈1801mm以上の商品



Step 1

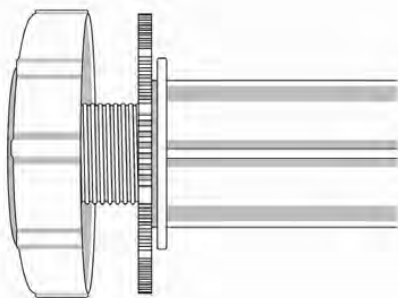
ダイヤル内側の調整リングを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします(左図参照)。

注意:側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。

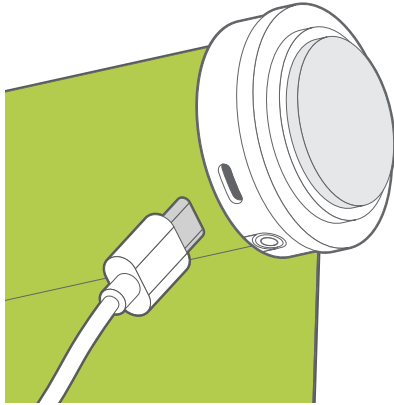


Step 2

ダイヤルをロールスクリーンの筒に対して、反時計回りに回します。調整リングとダイヤルが接したら固定完了です。



突っ張り部分を固定する際は、収納したねじの溝部分がすべて出ていることを確認してください。



ブラインドを取り付けた後、モーターを完全に充電することをお勧めします。LEDランプが赤色から緑色に点灯するまで充電して下さい。

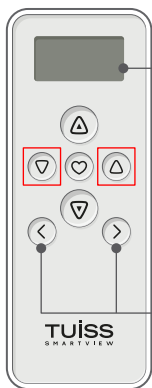


付属しているタグの表面(緑色)のQRコードを読み込んで、アプリをダウンロードします。裏面(白黒)のQRコードはアプリをダウンロード後、商品を登録する際に使用します。

"複数のスマートフォンで使用することができますが、同時に使用することはできません。初めて接続する際は一人ずつ行い、使用しない方はアプリを閉じるかBluetoothをオフにしてください。"

接続ができなくなった時は、充電器を差し込みなおし、一人ずつアプリに再接続して下さい。その際も操作している人以外はアプリを閉じるかBluetoothをオフにして、全員接続し終わったら充電器を抜いて下さい。"

リモコンの使い方 (有料オプション)

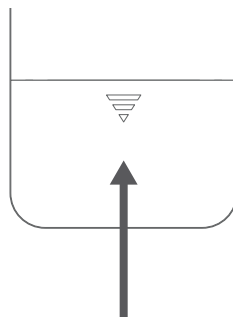
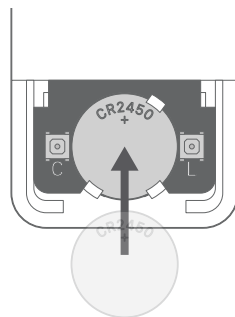
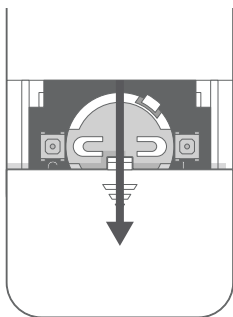


液晶画面

チャンネル
操作

リモコンの設定は、専用のアプリを使用して行います。前のページでご案内した通り、アプリをダウンロードしてください。アカウントを設定した後、アプリ内の指示に従ってリモコンの設定を行ってください。

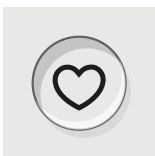
四角で囲んでいるボタンはロールスクリーンでは使用しません。



リモコンの電池は、リモコン裏側にある電池カバーをスライドして外し、付属のリチウムイオンバッテリーを丸いスロットに挿入します。



「上」ボタンを押すとブラインドが上昇します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。



「ストップ」ボタンを押すと昇降中のブラインドを停止します。



「下」ボタンを押すとブラインドが下降します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。



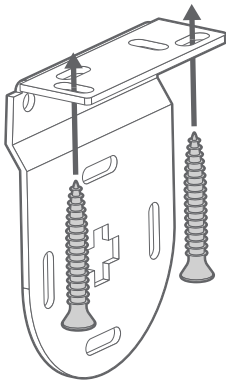
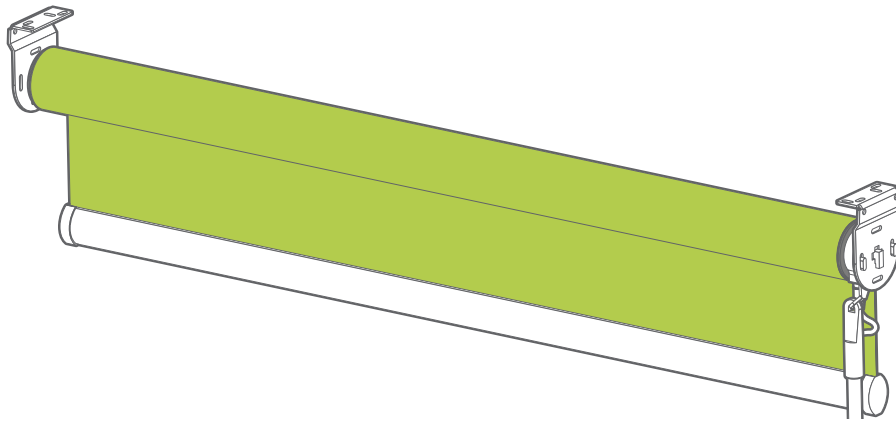
チャンネル操作

操作するロールスクリーンを変更します。チャンネル番号は各ロールスクリーンのボトムバー裏側に貼られているラベルを確認して下さい。



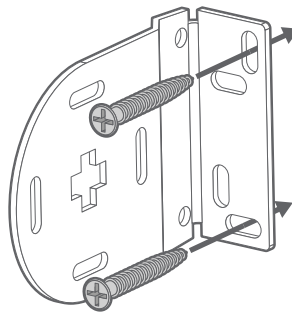
ブラケットの取り付け方

1



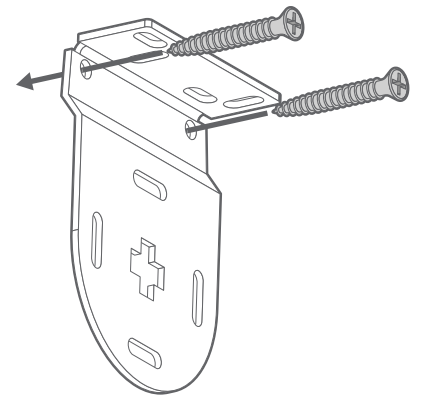
天井付け

窓枠内の天井にビスで取り付けます。



正面付け

窓枠外側の壁面、または窓枠の正面に取り付けます。



側面付け

窓枠内の側面にビスで取り付けます。

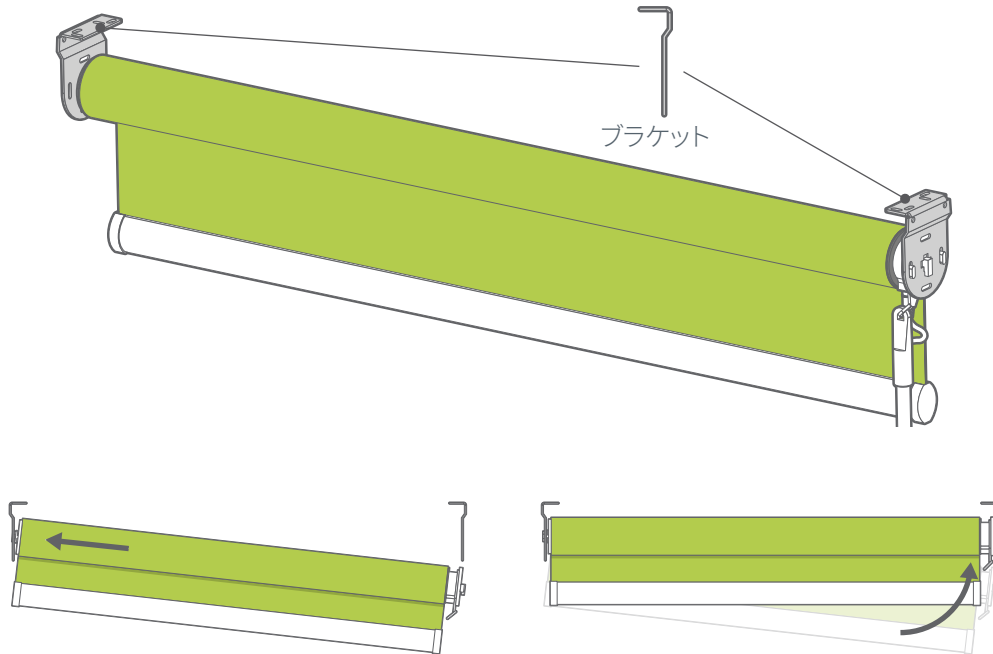
アドバイス

通常は天井付けまたは正面付けでの取り付けをおすすめします。お部屋の天井や窓枠の上部に凹凸（鴨居など）がある場合は側面付けでお取付け下さい。



2

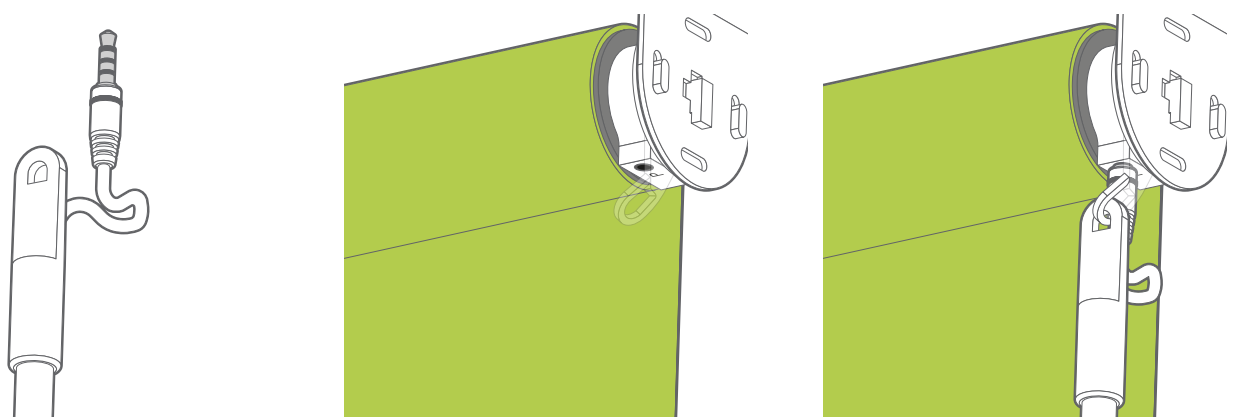
本体の取り付け方



ロールスクリーンを上まで巻き上げた状態で、ピンエンドをブラケットに合わせます。そのあと、コントローラー側を反対側のブラケットに取り付け固定します。

3

電動操作ワンドの取り付け



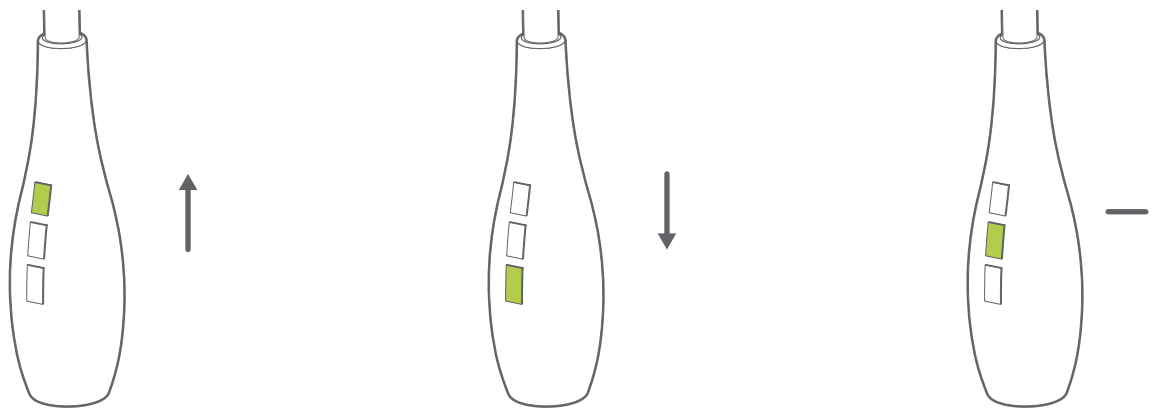
電動操作ワンドのプラグをポーターに差し込み、上部をフックに引っかけます。

電動操作ワンドを充電する



取り付け後、モーターを完全に充電することをお勧めします。LEDのランプが赤色から緑色に点灯するまで充電して下さい。充電がなくなったらアラームが鳴り、動作が不安定になります。

電動操作ワンドの使い方



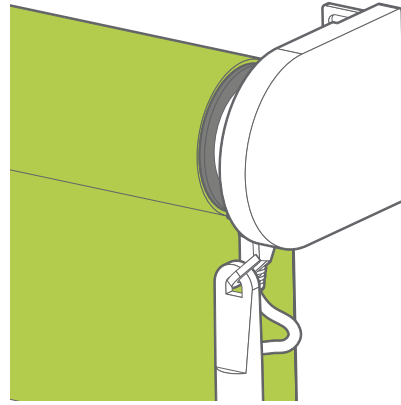
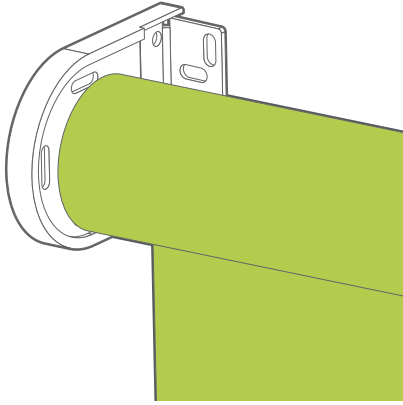
電動操作ワンドのハンドルについているボタンを押してスクリーンを操作します。上のボタンを押すと上がります。下のボタンを押すと下がります。真ん中のボタンを押すとスクリーンは停止します。

アドバイス

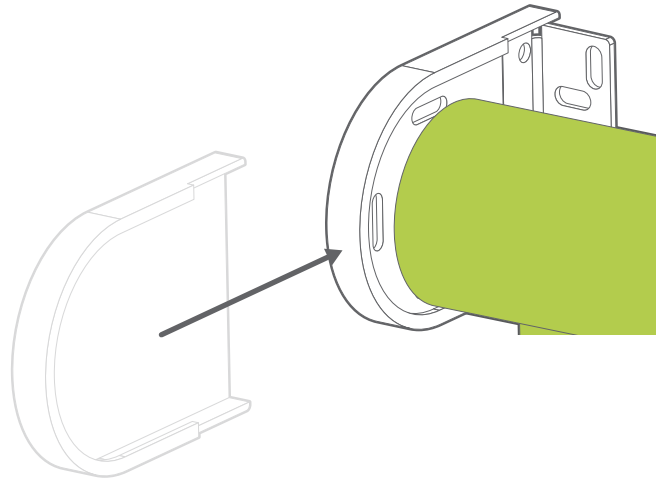
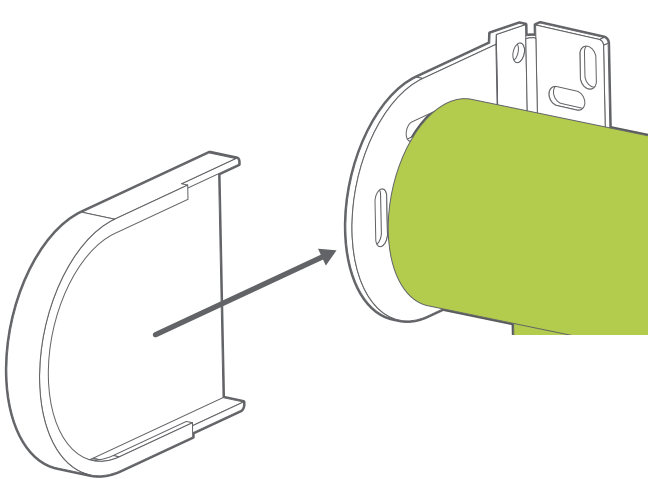
スクリーンの全開・全閉位置は、工場出荷時にご注文丈に合わせて設定されています。本体取り付け時にスクリーンが上まで巻き上がっていないと全開・全閉位置がずれますのでご注意ください。

その他

ブラケットカバー (正面付けのみ)



正面付けの際にブラケットを隠して、すっきりとした外観に仕上げるブラケットカバーが付属しています。



ブラケットカバーは、前方から後方に押し込むだけで簡単に装着できます。